

日本医学哲学・倫理学会
国際誌 (*Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine*)
査読に関する内規

2018年6月30日
国際誌編集委員会

- (1) 国際誌編集委員会は、原稿1篇につき2名の査読者を選定する。編集委員は、利益相反等により公正な査読に支障が懸念される場合を除いては、基本的に査読を断ることはできない。ただし、専門分野の広がりを考え、編集委員以外の会員にも査読を依頼することがある。なお、査読者がどの応募論文を担当したかについては公表しない。また、査読者は査読を通じて知りえた事実を第三者に口外してはならない。
- (2) 第一次審査と第二次審査、および最終審査は、基本的に同じ方に依頼する。
- (3) 第一次審査とは、英語論文の「要旨」（日本語もしくは英語）と、それに関連する「既発表論文」（日本語あるいは英語）とを読み、その「要旨」に沿って構成される論文が、英語論文として本国際誌に発表されるにふさわしいかどうかを評価するものである。
- (4) 第二次審査とは、第一次審査によって英語論文の提出を許可された者の応募論文を査読し、採用可か、書き直し再査読か、不採用かを審査するものである。そのさいの審査基準は以下の4点とする。
 - ①主張の独創性（当該分野における新知見。英語圏に発信する意義）
 - ②論述の明晰さ（英語論文としての構成の確かさ。文章力。説得性）
 - ③文献の堅実さ（引用の正しさ。英訳の正確さ。先行研究の適切なフォロー）
 - ④問題の骨太さ（医学哲学・医学倫理の世界への問題提起の骨太さ。射程の広大さ）なお、採用可ないし書き直し再査読と判定される論文を、最終判断にさいして、Scientific Contribution, Review Article, Research Report のいずれのかたちで採用しうるかについての意見を添えるものとする。
- (5) 最終審査とは、第二次審査で書き直し再査読と判定された応募者が再提出する論文を再び査読し、採用可か不採用かを審査するものである。
- (6) 当該原稿に関する審査結果（評価・見解）が査読者2名で分かれた場合、編集委員長が最終判断を行う。また、いずれの審査についても、判定に関するコメント等を

記載した査読結果を応募者に通知する。

- (7) 編集委員長は、全ての応募原稿に眼を通す。
- (8) 委員長あるいは委員が応募を依頼する原稿（「依頼応募原稿」）にも査読があり修正をお願いすることがあることを、依頼にさいしては明確にしておく。
- (9) 依頼応募原稿について、依頼した委員長・委員は当該原稿の査読者にはなれない。